

令和 2 年 6 月 25 日現在

機関番号：15401

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2016～2019

課題番号：16K16695

研究課題名(和文)チベットの中観思想と文学の総合的研究

研究課題名(英文)Comprehensive Research on Madhyamaka Thought and Literature in Tibet

研究代表者

根本 裕史(Nemoto, Hiroshi)

広島大学・文学研究科・教授

研究者番号：00735871

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,000,000円

研究成果の概要(和文)：チベット仏教ゲルク派の美文詩・宗教歌の内容・形式の分析を通じて、中観思想と文学の融合という視点から、チベット文化史の一側面を解明した。第一に、ゲルク派の創始者ツォンカパの『縁起讚』とその註釈文献を精査し、彼らの関心が中観派の修道論と詩的世界の構築に向けられていたことを明らかにした。第二に、ゲルク派の学僧チャンキヤ・ロルペー・ドルジェの宗教歌『知見の歌』とその註釈文献を精査し、この歌に特徴的な「顕現と空性の連合」という思想がチベットにおける宗派間対立の融和につながっている点を明らかにした。さらに付随して、サンスクリット叙情詩『メーガドゥータ』のチベット語新訳を完成し、出版した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、チベット仏教ゲルク派の美文詩・宗教歌について「インド・チベット中観思想史」および「インド・チベット文学史」という複合的な視点から考察することにより、分野融合的チベット文化研究の新たな構築を目指すものである。現代のチベット問題の文化的背景の解明につながる。青海師範大学の扎布教授との共著出版など、中国在住のチベット人研究者との交流を促進した。

研究成果の概要(英文)：The unification of Madhyamaka philosophy and poetic literature in Tibet is investigated by analyzing the poetic works and religious songs written by the Dge lugs pa monk scholars. First, through the analysis of the Rten 'brel bstod pa, a poetic work written by Tsong kha pa, together with its commentaries, what has been clarified is that the Dge lugs pa's concern is directed to the Madhyamaka theory of praxis and construction of the poetic world. Secondly, through the analysis of the Lta mgur, songs on the Madhyamaka thought composed by Lcang skya rol pa'i rdo rje, as well as its commentaries, what has been clarified is that the concept of "the unity of appearance and emptiness," which is characteristic to the work, is one important factor that triggered the non-sectarian movement in the nineteenth century in Tibet. Another important result of this study is a new Tibetan translation of the Meghaduta, a Sanskrit lyrical poem by Kalidasa.

研究分野：チベット学

キーワード：チベット仏教 チベット文学 美文詩 中観思想

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

## 1. 研究開始当初の背景

14世紀後半から15世紀初頭に活躍したツォンカパは、チベットの仏教思想と古典文学の双方の発展に大きな影響を与えた人物である。彼はインド仏教から伝わる中観思想を独自の視点から分析し、新たな存在論・時間論・言語論・修道論を展開して、チベット仏教思想史の流れを大きく変えた。それと共に、彼は13世紀以後にインドから伝わったサンスクリット修辞学と美文詩(カーヴィア)の知識を積極的に取り入れ、自身の思想を美文詩(snyan ngag)の形で表現し、後代のチベット仏教文学の模範を築いた。

仏教思想家であると同時に詩人でもあるツォンカパの才能が存分に発揮された作品として重要なのが『縁起讃』である。同書で彼は「およそ縁起するものは空である」という中観派の思想を語りながら、それを最初に解き明かした仏陀に対する賛辞と自身の修学時代の体験を詩的に表現し、中観思想と文学世界の融合を実現している。それ以後、ゲルク派の学者達は詩の言葉の持つ力を最大限に活用し、自身の思想や仏陀・菩薩・ラマ(尊師)に対する信仰の言葉を綴るようになった。例えばグンタン・テンペードウンメ(1762-1823)は『具義讃』およびその自註を著し、『縁起讃』の表現形式を用いてツォンカパの思想の独自性を称賛すると共に、チベットの他宗派への批判を展開している。また、チョーネ・ラマ(?-1923)は『縁起讃』を増広した思弁的な美文詩『混淆讃』を著している。さらに、18世紀以後のゲルク派では中観思想を表現する宗教歌(mgur)も作られるようになった。チャンキャ・ロールペードルジェ(1717-86)は『見解の歌』を著し、ツォンカパ中観思想の要点を、「母」「兄」などの象徴表現を用いながら歌のリズムに乗せて表現している。『見解の歌』はゲルク派のみならず、ニンマ派など他宗派でも受け入れられた。

インドから伝わった中観思想、サンスクリット美文詩、そして、チベット固有の歌の伝統はこのような形で有機的に統合され、チベットの人々に受容された。上に挙げた文献は、チベットにおけるツォンカパ中観思想の展開を探る上で重要なものではないが、チベット仏教における宗派意識の問題や、チベット文学における美文詩と宗教歌の関係を明らかにする上でも貴重な資料となるものである。

『縁起讃』についてはThurman(1982)、Gyaltzen and Ngawang(1982)、Ruegg(2010)、Lobsang and Woodhouse(2011)など、既に多くの研究がなされている。しかし、いずれも『縁起讃』の内容の祖述に終止するものであった。今後なされるべきことは、『縁起讃』の中観思想の特色とその文学作品としての価値を総合的に論じ、この作品が後代のチベット中観思想・文学にどのような影響を与えたかを探るといった試みである。仏教思想・文学・政治史・言語といった複数の要素が絡み合うチベット文化を理解するためには、このような分野横断的研究が不可欠である。

申請者はゲルク派の中観思想における時間論、同派の論証学、般若思想の研究に取り組んできた。近年はツォンカパの『縁起讃』およびその註釈『白光の輪』の翻訳研究を完成させ、彼の文学世界と学問観に関する研究を進めている。また、チベットの詩論にも関心を向け、ゲルク派の学者ジャムヤンシェーパ(1648-1721)の詩の文体に関する研究を行なった。これらの研究を発展させる段階に達した今、課題として残されているのは『縁起讃』に関連する後代の詩作品、宗教歌、チベット修辞学・詩学文献を精査することである。これにより、『縁起讃』にはじまり中観思想を軸とするチベット文化史の諸相を描き出すことが本研究の狙いである。

## 2. 研究の目的

本研究(課題名:チベットの中観思想と文学の総合的研究)の目的は、チベット仏教ゲルク派の創始者ツォンカパ・ロサンタクパ(1357-1419)以降に成立した、中観思想とその修習法を説

く詩作品・宗教歌を収集して分析し、中観思想と文学の融合、並びにチベット仏教における宗派意識という視点から、チベット文化史の一側面を明らかにすることである。

### 3．研究の方法

以下の三点について研究を実施した。

- [1] ツォンカパ・ロサンタクパ『縁起讃』の研究
- [2] チャンキャ・ロルペードルジェ『知見の歌』の研究
- [3] 『メーガドゥータ』チベット語新訳の作成

これらの内、[1]と[2]については、註釈文献と共に内容を精査し、翻訳研究を完成させた後、中観思想史と文学史という二つの観点からの分析を行なった。[3]については、サンスクリット原典、マツリナータ註釈、14世紀に成立したチベット語訳、20世紀に書かれた現代の註釈を丹念に精査した上で、原典に忠実でマツリナータの解釈に従った新たなチベット語訳を作成した。これらの研究に当たり、インド・チベット古典文学研究者であるチベット人学者扎布（ジャブ）教授（青海師範大学）と共同研究会を実施した。

### 4．研究成果

チベット仏教ゲルク派の美文詩・宗教歌の内容・形式の分析を通じて、中観思想と文学の融合という視点から、チベット文化史の一側面を解明した。第一に、ゲルク派の創始者ツォンカパの『縁起讃』とその註釈文献を精査し、彼らの関心が中観派の修道論と詩的世界の構築に向けられていたことを明らかにした。また、『サダープラルディタ・アヴァダーナ』の翻訳研究を作成し、インドのサンスクリット詩論からの影響や、大乘仏教「般若経」のサダープラルディタ物語の展開を探った。第二に、ゲルク派の学僧チャンキャ・ロルペードルジェの宗教歌『知見の歌』とその註釈文献を精査し、この歌に特徴的な「顕現と空性の連合」という思想がチベットにおける宗派間対立の融和につながっている点を明らかにした。さらに、サンスクリット叙情詩『メーガドゥータ』のチベット語新訳を完成し、出版した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計13件（うち査読付論文 7件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 Hiroshi Nemoto	4. 巻 68-3
2. 論文標題 Tsong kha pa's Madhyamaka Philosophy in the Formative Period	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 158-164
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 根本裕史	4. 巻 108
2. 論文標題 書評・紹介：福田洋一著『ツォンカパ中観思想の研究』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 仏教学セミナー	6. 最初と最後の頁 40-49
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 根本裕史	4. 巻 -
2. 論文標題 チベットの『メーガドゥータ』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 チベット・ヒマラヤ文明の歴史的展開	6. 最初と最後の頁 245-260
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroshi Nemoto	4. 巻 68-3
2. 論文標題 Tsong kha pa 's Madhyamaka Philosophy in the Formative Period	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 1264-1270
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 根本裕史	4. 巻 17
2. 論文標題 『サダープラルディタ・アヴァダーナ』研究	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 比較論理学研究	6. 最初と最後の頁 15-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroshi Nemoto	4. 巻 70
2. 論文標題 Emptiness and Fear in the Madhyamaka Philosophy in India and Tibet	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 哲学	6. 最初と最後の頁 155-165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 根本裕史	4. 巻 16
2. 論文標題 中観思想と歌：『知見の歌』研究(2)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 比較論理学研究	6. 最初と最後の頁 13-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroshi Nemoto	4. 巻 69
2. 論文標題 Tsong kha pa et al. on the Object of Negation (dgag bya)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Tetsugaku	6. 最初と最後の頁 95-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 根本裕史	4. 巻 15
2. 論文標題 顕現と空性: 『知見の歌』研究(1)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 比較論理学研究	6. 最初と最後の頁 55-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 根本裕史	4. 巻 82
2. 論文標題 ツォンカバの人間観	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本佛教学会年報	6. 最初と最後の頁 44-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 根本裕史	4. 巻 68
2. 論文標題 チベット仏教における論理学・認識論の宗教的意義	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 哲学	6. 最初と最後の頁 57-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Rtσα ba shes rab bzang po	4. 巻 -
2. 論文標題 Rten 'brel bstod pa'i skor dpyod pa	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Rje tsong kha pa zhib 'jug, Rje tsong kha pa'i rgyal spyi'i rig gzhung bgro gleng tshogs 'du skabs dang po'i dpyad rtsom phyogs bsgrigs	6. 最初と最後の頁 208-215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 根本裕史	4. 巻 14
2. 論文標題 チャンキヤ・ロルペードルジェ『知見の歌』研究序説	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 比較論理学研究	6. 最初と最後の頁 57-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計13件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 7件)

1. 発表者名 根本裕史
2. 発表標題 ツォンカバ修業時代の中観思想
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第70回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroshi Nemoto
2. 発表標題 A New Tibetan Translation of the Meghaduta
3. 学会等名 Translating and Educating: the Transmission of Indian and Buddhist Texts and Thought (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroshi Nemoto
2. 発表標題 Songs on the Philosophical View: A Study of Lcang skya rol pa'i rdo rje's Lta mgur
3. 学会等名 International Association for Tibetan Studies, 15th Seminar (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroshi Nemoto
2. 発表標題 Songs on the Philosophical View: A Study of Lcang skya rol pa'i rdo rje's Lta mgur
3. 学会等名 International Association for Tibetan Studies, 15th Seminar (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 根本裕史
2. 発表標題 ツォンカバ修業時代の中觀思想
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第 70 回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroshi Nemoto
2. 発表標題 A New Tibetan Translation of the Meghaduta
3. 学会等名 Translating and Educating: the Transmission of Indian and Buddhist Texts and Thought (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroshi Nemoto
2. 発表標題 Tsong kha pa on Dependent Origination and Emptiness
3. 学会等名 International Association of Buddhist Studies (国際学会)
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 根本裕史
2. 発表標題 空性と恐怖:インド・チベット中観思想の一考察
3. 学会等名 広島哲学会第 68 回学術研究発表大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 根本裕史
2. 発表標題 チベットの幸福論 王と羊飼いと渡し守
3. 学会等名 「幸福と道徳」高麗大学・広島大学共同国際学術大会(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroshi Nemoto
2. 発表標題 The Purpose of Poetry in Classical Tibetan Literature
3. 学会等名 International Association for Tibetan Studies, 14th Seminar(国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 根本裕史
2. 発表標題 ツォンカバの人間観
3. 学会等名 日本佛教学会 2016 年度学術大会(第86回大会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 根本裕史
2. 発表標題 チベット古典文学の再創造
3. 学会等名 チベット文明のレジリエンス「チベット・ヒマラヤ文明の史的展開の学術的研究」研究班・公開シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 根本裕史
2. 発表標題 ツォンカバの 否定対象 論
3. 学会等名 広島哲学会第67回学術発表大会
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 扎布、根本裕史	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中国蔵学出版社	5. 総ページ数 252
3. 書名 迦梨陀娑《云使》訳注与研究	

1. 著者名 根本裕史	4. 発行年 2016年
2. 出版社 平楽寺書店	5. 総ページ数 301
3. 書名 ツォンカバの思想と文学 縁起讃を読む	

1. 著者名 Yoshimizu Chizuko, Nemoto Hiroshi, Kazuo Kano	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東洋文庫	5. 総ページ数 115
3. 書名 dBu ma tshig gsal gyi ti ka, Part II	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----